

善福寺釈迦堂



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	ぜんぷくじしゃかどう
所在地	井原市井原町
指定年月日	平成14年3月12日
解説	釈迦堂は、天正年間(1570年代)、毛利家の家臣としてこの地方の領主となった柳本八郎左衛門の曾孫甚左衛門正勝が寛文6年(1666)に建立したものである。桁行三間、梁間三間で、単層入母屋造、本瓦葺である。扉や墓股には、花や人物像の彩色された精巧な彫刻が施されている。なお、棟札の表面には本釈迦堂の施主名並びに大坂の大工名、裏面には建築の経緯が記されている。
アクセス方法	井原鉄道「井原駅」から徒歩約15分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	善福寺釈迦堂
よみかた	ぜんぶくじしゃかどう
しょざいち (所在地)	井原市井原町
していたひ (指定した日)	平成14年3月12日
せつめい	1666年(ねん)にこの地方(ちほう)の領主(りょうしゅ)柳本正勝(やなぎもとまさかつ)が善福寺境内(ぜんぶくじけいだい)に建(た)てたものです。とびらなどに花(はな)や人物(じんぶつ)をかたちどったきれいな彫刻(ちょうこく)があります。